

(別記)

令和3年度仙北市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

令和2年現在の本市における水稲の作付面積は、3,234haとなっており、市全農地の66%を占めている。湿田が多いことから非主食用米への転作に占める割合が高い。

水田転作の状況は飼料作物、そば、大豆の作付割合が高く、ほ場整備が進んでいる平場の神代地区や角館地区では大豆、枝豆、麦などが、また、中山間地域ではそばの転作が増加している。一方、田沢地区、桧木内地区については農家戸数の減少に伴い担い手不足が深刻化しており、耕作放棄地の増加が懸念されている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

機械化体系の確立された作物、単収の高い作物を重点品目とし、産地交付金により支援していく。さらに、実需者より生産拡大の要望が強い薬用作物（ビャクシ、シャクヤク）を重点品目に追加し、本作化を推進していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域に中小零細農家が混在するため畑地の団地化は推進出来ない。

水田の有効利用については、不作付地にそば等管理の容易な作物を作付するよう推進する。

水田の利用状況の点検方針については、作付作物確定後に農地台帳により行うこととし、不作付地については、条件の良い農地については、飼料用米等の新規需要米への作付誘導を行い、条件不利地については、そばの作付推進を図る。併せて、農地中管理事業を活用し、農地の利用集積を図って行く。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に対応した良食味米、良質米産地として評価を高めて行くことが重要である。このため、主力品種「あきたこまち」の1等米比率のさらなる向上や、付加価値の高い米の生産に取組み、需要に対応した生産を行う。

(2) 備蓄米

備蓄米については、主食用米価格を参考に落札価格が設定されることから、時勢を見ながら対応していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

コロナ禍の影響により主食用米の需要がさらに落ち込むことが予想されることから、産地交付金を活用し積極的に生産拡大を推進する。

併せて、慢性的に主食用米の需要量の減少がしていることから、産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、直播技術の導入や、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積、集約化を進め生産拡大に取り組む。

イ 米粉用米

米粉用米はきぬのはだ、たつこもちといったもち米の品種による取組みが行われ、多収品種並の収量が期待されている。産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、直播技術の導入や、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積、集約化を進め生産拡大に取り組む。

ウ 新市場開拓用米

産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、JA等集荷業者と連携し輸出用米等の生産面積の拡大を推進していく。

エ WCS用稲

WCS用稲は市内全域で取組が進められており、出荷数量も比較的安定していることから、供給先の畜産農家との調整を図りながら、生産面積を拡大する。実需と連携を図り、供給面積の拡大に努める。

オ 加工用米

水田活用の直接支払交付金を活用して支援する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、重点的な転作作物と位置づけ作付推進をしてきたが、今後も担い手への集約、団地化及び水田の高度利用を進め生産面積の拡大を図る。さらに産地交付金を活用し、収益力向上に資する取組の支援を図る。

飼料作物については、栽培管理・肥培管理を徹底し、栽培面積を維持しつつ粗飼料の自給率向上を図ると共に、畜産農家との連携を強化しながら資源の有効利用を推進していく。

(5) そば、なたね

そばについては、中山間地域での有益な転作作物として、適地適作を行いながら、明渠排水等による排水対策を実施することで生産や品質の向上を図る。また、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積を進め、不作付地等からの作付を誘導する。

さらに産地交付金を活用し、収益力向上に寄与する取組の支援を図る。

なたねについては、取組なし。

(6) 高収益作物

産地交付金を活用し、仙北市重点作物を中心に生産面積の拡大及び本作化を推進していく。

地力増進作物については、基盤整備事業によって整備される大区画ほ場へ、翌年度以降の作物の収益力向上を目的に、ほ場の透水性や土壌環境等の改善を期待し作付を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度 作付面積等 (ha)	当年度の 作付予定面積等 (ha)	令和5年度の 作付目標面積等 (ha)
主食用米	2,695.5	2,643.3	2,600.0
備蓄米	143.4	130.0	130.0
飼料用米	40.2	48.0	60.0
米粉用米	18.4	18.4	19.0
新市場開拓用米	11.0	11.2	17.0
WCS用稲	73.8	73.8	80.0
加工用米	251.5	300.6	300.6
小麦	18.2	17.1	20.0
大豆	171.0	172.0	180.0
飼料作物	235.7	235.7	235.7
子実用とうもろこし	0.2	0.2	0.2
そば	375.2	380.0	400.0
なたね	0.0	0.0	0.0
高収益作物	247.1	248.3	269.4
・野菜	201.9	203.1	214.9
いちご	0.6	0.6	0.6
キャベツ	5.1	5.1	5.1
ほうれんそう	4.3	4.3	4.3
ねぎ	17.1	17.1	26.0
えだまめ	24.8	25.0	25.0
アスパラガス	8.9	8.9	8.9
そらまめ	5.1	5.1	5.1
山の芋	1.8	1.8	1.8
しいたけ	1.1	1.1	1.1
にんにく	5.1	5.1	6.0
その他野菜	128.0	129.0	131.0
・花き・花木	21.3	21.3	21.4
菊	2.8	2.8	2.8
小菊	1.0	1.0	1.0
ダリア	1.1	1.1	1.2
トルコギキョウ	0.4	0.4	0.4
りんどう	11.3	11.3	11.3
アスター	0.9	0.9	0.9
ケイトウ	1.6	1.6	1.6
その他花き	2.2	2.2	2.2
・果樹	12.0	12.0	12.0
ぶどう	1.3	1.3	1.3
その他果樹	10.7	10.7	10.7
・その他の高収益作物	11.9	11.9	21.1
薬用作物(ビャクシ、シャクヤク)	6.5	6.5	15.7
たばこ	4.4	4.4	4.4
木の芽	1.0	1.0	1.0
その他	76.4	59.0	91.0
雑穀	1.0	1.0	1.0
地力増進作物	75.4	58.0	90.0
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度(実績)	目標値
1	いちご、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、えだまめ、アスパラガス、そらまめ、山の芋、しいたけ、にんにく、菊、小菊、ダリア、トルコギキョウ、りんどう、アスター、ケイトウ、ぶどう、薬用作物(ビャクシ、シャクヤク)(基幹作物)	仙北市重点作物作付助成	作付面積 (交付面積)	(令和2年度) 100.8 ha (93.5ha)	(令和5年度) 120.1 ha (110.0ha)
2	大豆 (基幹作物)	収益力向上対策助成(大豆)	作付面積 (交付対象面積) 取組面積 10a当たり収穫量	(令和2年度) 171.0 ha (166.9ha) 21.3ha 91kg	(令和5年度) 180.0 ha (176.0ha) 170.0ha 200kg
3	小麦 (基幹作物)	収益力向上対策助成(小麦)	作付面積 (交付対象面積) 取組面積 10a当たり収穫量	(令和2年度) 18.2 ha (18.2ha) 0ha 222kg	(令和5年度) 20.0 ha (20.0ha) 20ha 250kg
4	そば (基幹作物)	収益力向上対策助成(そば)	作付面積 (交付対象面積) 取組面積 10a当たり収穫量	(令和2年度) 375.2 ha (374.3ha) 37.6ha 43kg	(令和5年度) 400.0 ha (400.0ha) 200.0ha 60kg
5	その他野菜、その他花き、その他果樹 (基幹作物)(具体的作物は別紙2のとおり)	その他振興作物作付助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 146.3 ha (33.7ha)	(令和5年度) 149.3 ha (36.0ha)
6	地力増進作物 (基幹作物)	ほ場整備区域地力増進作物作付助成	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 75.4 ha (75.0ha)	(令和5年度) 90.0 ha (90.0ha)
7	飼料用米、米粉用米 (基幹作物)	飼料用米、米粉用米の複数年契約への取組支援	飼料用米 複数年契約 取組面積・数量 作付面積・数量	(令和2年度) 29.7ha・165t 40.2ha・224t	(令和5年度) 40.0ha・223t 60.0ha・335t
			米粉用米 複数年契約 取組面積・数量 作付面積・数量	(令和2年度) 18.4ha・103t 18.4ha・103t	(令和5年度) 19.0ha・106t 19.0ha・106t
8	そば (基幹作物)	そば作付の取組支援	作付面積 (交付対象面積)	(令和2年度) 375.2 ha (374.7ha)	(令和5年度) 400.0 ha (400.0ha)

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。